

2022(令和4)年度 入学試験問題

東大・医進クラス 2月1日 PM

国語

注意

- (1) 指示があるまで表紙を開かないこと。
- (2) 問題および解答用紙の両方に受験番号・座席番号を記入すること。
- (3) 声を出して読まないこと。
- (4) 解答は全て解答用紙の所定の欄らんに記入すること。

受験番号

座席番号

※問いに字数指定がある場合は、句読点なども一字として数えます。

【一】次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

久しぶりに、動物園特有のにおいをかいで、楓は「くさい……」と顔をしかめた。

動物の糞尿や体臭の入り混じったにおいや、鳥やサルの鳴き声が、風に乗って運ばれてくる。

入園ゲートを抜けると、ピンク色をしたフラミンゴの群れが、目に入った。

「いい天気になってよかったな。雲ひとつない青空。絶好の動物園日和だな」

うれしそうな声で話す父親の横で、楓は無言のまま、スマートフォンを取りだす。そして、色鮮やかなフラミンゴを撮影して、SNSに写真をアップした。

〈動物園に来ています〉

自分の存在を確認したくて、いまなにをしているのか、いちいちインターネットに公開する。

「かえでちゃん」

父親は猫なで声を出して、わざとらしく「ちゃんづけ」で名前を呼ぶと、楓のスマートフォンを指さした。

「パパとおでかけしてるときは、ネット禁止」

目の前にだれかがいるときにスマートフォンをいじめることはマナー違反だと、父親は言うのだ。

①「そんな感覚、古いつて。みんな、しゃべりながらふつうにネット見たりしてるし」

「それでも、パパはやめてほしいんだ。せつかく大好きな楓といっしょにいるのに、ネットをされたら、淋しくていやな気持ちになるだろ。相手がいやがることをしないとというのが、マナーだよ。さあ、行くぞ。パパはトラが見たいんだ」

楓はスマートフォンをしまうと、つまらなさそうな顔のまま、意気揚々と歩く父親のあとについていく。

楽しくないわけではないが、いい年をして父親といっしょに動物園なんかに来てうれしうにしているのは、プライドが許さないという気分なのだ。

茶色く塗られたコンクリートの上で、アムールトラがゆつくりと歩いている。

トラというのは、美しい生き物だ、と楓は思う。

その毛並み、金色の瞳、堂々とした体格……。巨体でありながら、ネコ科の動物だけあって、歩くときには足音を立てず、その動作は優美ですらある。

「写真を撮るのはいいでしょ？」

父親に確認してから、楓はスマートフォンを取りだして、トラのすがたを撮影した。

「あの作文で、楓は動物園について、否定的な意見ばかりを書いていただろう？」

トラを見つめながら、父親は問いかけてくる。

「うん、だって、どう考えても、動物園なんて人間のエゴだもの」

「たしかに、動物園は人間を楽しませる『娯楽』のための施設ではある。けれども、それだけじゃない」

「どういうこと？」

「動物園には『保護』や『研究』という役割もあるんだ。絶滅のおそれがある動物を飼育することは、種の保存という観点からも大切なことだよ」

そんな父親の言葉を聞きながら、楓はトラの檻の横に展示されている自然保護区の写真を見つめる。

環境破壊などによって野生のアムールトラはすむ場所を奪われ、数が減っていると書かれていた。人間が保護しなければ、絶滅してしまうおそれがあるらしい。

② 作文を書くとき、楓はまず、結論を決めていた。

動物園に否定的な内容にしようと思っていたから、インターネットで情報を探すときにも、自分の主張に合う情報ばかりを求めていたのだ。

③ もし、検索をするときに「動物園」というキーワードと見つしよに、ポジティブな言葉を入力していれば、まったくちがった情報を目にしていただろう。

インターネットには、さまざまな情報があふれている。しかし、検索の仕方によって、そこから引きだされる情報には、かたよりが出てくるのだ。

「それに、動物園の役割には『教育』というものもある。いま、楓はこうして、実物のトラを見たり、展示を読んだりして、学んでいるだろう？」

楓がうなずくと、父親は話をつづけた。

④ 「もちろん、それだって人間の都合であり、エゴと言えるのかもしれない。どんなことにも、肯定的な面があれば、否定的な面もある。さまざまなことを知ったうえでも、うまく楽しめるのが大人なのかもしれない」

ふたりはそれから、順路にしたがって、クマやゾウなどを見て歩き、サル山にたどりついた。

楓たちはベンチに座って、サル山をながめながら、少し足を休ませることにした。

サル山では、何十匹ものサルたちが、思い思いの場所で、昼寝をしたり、毛づくろいをしたりしていた。

子ザルたちがちよこまかと動きまわるすがたはかわいい。一方、大きなサルはどここわい感じがする。

「サルはどうして、毛づくろいをするのだと思う？」

父親の質問に、楓は少し考えて答える。

「ノミをとっているんじゃないの？」

「あれは自分たちの絆をたしかめあうコミュニケーションのための行為らしい」

楓はサルたちを観察しながら、父親の言葉を聞く。

体格の大きなサルのところには、つぎつぎにべつのサルがやってきて、毛づくろいを行っていた。その様子は、まるでご機嫌を取っているかのようだ。

「群れで暮らすと、敵から自分たちを守りやすい。けれども、他者と暮らすことには、ストレスも生じる。そのストレスをやわらげて、良好な関係を維持するため、^⑤サルもヒトも『毛づくろい』が必要だというわけだ」

「サルもヒトも……って、人間は毛づくろいなんかしないでしょ」

「人類は毛づくろいのかわりとして、言語を発達させた、という説があるんだよ」

「毛づくろいのかわり？」

「人間も初期のころはサルのようにスキンシップによってコミュニケーションを取っていた。だが、群れの規模が大きくなると、毛づくろいなどをする時間が足りなくなる。かわりに、言語が発達して、うわさ話やゴシップを伝えることを好むようになった、と考える研究者もいるんだ。おもしろいと思わないかい？」

仲良くするために、せつせと毛づくろいをするサルたち。

それはたしかに、つながりをたしかめあうためにせつせとインターネット上でメッセージのやりとりをする自分たちに似ているかもしれない、と楓は思った。

父親がベンチを立ち、トイレへむかう。

そのすきに、楓はスマートフォンを取りだして、SNSをチェックした。

先ほどの書きこみに、結衣から返信があった。

〈いいね！ 私も動物園、行きたーい！〉

^⑥ たったこれだけの文章なのに、楓はプレゼントを贈られたような気持ちになる。ずっと、ふつうの友達つきあいというものには、興味がなかった。

概念としての「サル」という言葉を使って、楓は見下すようなニュアンスで、クラスメイトたちのことを「サル山のサルみたいだ」と思っていた。

けれども、実際にサルたちをながめていると、バカにするような気持ちにはならない。

まったりとした雰囲気の中で、サルたちは気持ちよさそうに、毛づくろいをしている。

結衣とやりとりをするのは、楽しい。

友達になりたい、と思っっているのだ。

ようやく、楓は自分の気持ちに、気づいた。

そして、とまどう。

これまで、ちゃんとした友達なんて作ったことがない。

ふつうの友達つきあい、というものは、どうすればいいのだろう……？

検索してみようかな、と思う。

しかし、スマートフォンを片手に持ったまま、楓は考えた。

インターネットには、中学生が友達と仲良くする方法についての情報はあるかもしれない。

けれども、観月楓が松島結衣という女の子と友達になるための方法は、自分で見つけるしかないのだ。

楓は、これまで読んだ結衣のつぶやきを思い出す。

そういえば、以前、結衣はオオカミの動画を見て、とても感動していた。

動物のなかでも、特にオオカミが好きらしい。

父親が戻ってくると、楓はすたすたと歩きだした。

「あれ？ 楓、どこに行くんだ？ ペンギンは？」

「オオカミが見たいの」

楓がオオカミのいる檻に近づいた途端、少しだけ変わったことが起きた。

一匹のオオカミが前足をそろえて座り、あごをあげ、大空にむかって、遠吠えをはじめたのだ。

楓はあわてて、スマートフォンをかまえ、その様子を動画で撮影する。

ここには、ほかに、オオカミなんていない。

それなのに、オオカミは遠吠えをつづける。

だれに、なにを伝えようとしているのか……。

「ねえ、パパ。動画って、どうやってアップするの？」

楓はとりにいる父親に教えてもらって、さつそく、いま撮ったばかりの動画をインターネットで公開してみた。それから、結衣にメッセージを送る。

〈こんにちは！ オオカミ、好きだったよね？ よかったら、見て〉

動画のアドレスを送ると、すぐに結衣から返信があった。

〈見たよ☆ すごい！ かつこいい〉

それだけじゃない。

動画のサイトには、ほかの知らないひとたちからも、いくつかコメントが載っていたのだ。

〈オオカミ好き〉

〈動物園のオオカミも、遠吠えするの？〉

〈cool〉

〈久しぶりに、動物園に行きたくなった〉

SNSのおもしろさ、つながることの楽しさが、楓にも理解できた気がした。

現実と、おなじなんだ。

ネット上であろうが、現実だろうが、だれかが自分のことを気にしてくれると、うれしい。

ささいなことでもいい。あいさつを交わすようなもの。深い内容なんてなくても、そのやりとりに意味があるのだ。

⑦ サルになるのも悪くはないかな、と楓は思った。

（藤野恵美『雲をつかむ少女』による）

問一 〜〜線A〜Cの本文中の意味として最も適切なものを次のア〜エから選び、記号で答えなさい。

A 猫なで声

- ア 目下のものに言い聞かせる語調
- イ 甘くあま柔らかくやわ言いかける声音
- ウ 親しみ深い友人のような口調
- エ 相手の機嫌を取ろうとする声色

B 意気揚々と

- ア 体力と精神力を集中させて
- イ 後先を考えない猛烈もうれつな勢いで
- ウ 威厳いげんがあつて立派な様子で
- エ 大いに満足している様子で

C エゴ

- ア その場限りの一時的な考え方
- イ 好みや思いつきで判断する姿勢
- ウ 自己都合だけを優先する立場
- エ 自分だけの見方にとらわれる様子

問二 ――線①「そんな感覚」とありますが、どのような感覚ですか。わかりやすく説明しなさい。

問三 — 線② 「作文を書くとき、楓はまず、結論を決めていた。」とありますが、どのような結論ですか。最も適切なものを次のア～エから選び記号で答えなさい。

- ア 動物園が人間の娯楽や研究の場であることに對する肯定的な結論。
- イ 動物園が人間を楽しませる施設であることに對する否定的な結論。
- ウ 動物園が絶滅危惧種を保護する施設であることに對する肯定的な結論。
- エ 動物園が人間が動物について学ぶ場であることに對する否定的な結論。

問四 — 線③ 「もし、検索をするときに「動物園」というキーワードといっしょに、ポジティブな言葉を入力していれば、まったくちがった情報を目にしていたらどう。」とありますが、ここから読み取れるのは、どのようなことですか。最も適切なものを次のア～エから選び記号で答えなさい。

- ア インターネットで自分の主張に合う情報ばかりを求めたことには「かたより」があり、動物園に対して一面的な見方をしてしまっていたことに気づかされた。
- イ 日常的にインターネットで情報を検索するが、その仕方によって得られる情報には「かたより」が生じるため、検索の仕方に気を付ける必要があると学ぶことになった。
- ウ 自分の知らないこともインターネットを使えば情報を得られるが、「かたより」のない本当の情報は動物園にあったので、実際に見ることの大切さを認識させられた。
- エ インターネットから得る情報だけで何もかもわかったつもりになっていたが、父の言葉によって自分の知識には「かたより」があると気づくことができた。

問五 ——線④「さまざまなことを知ったうえでも、うまく楽しめるのが大人なのかもしれない」とありますが、どういうことですか。最も適切なものを次のア～エから選び記号で答えなさい。

ア ものごとの否定的な面だけにとらわれず肯定的な面を知ることによって、あらゆる場面で臨機応変な態度を取れるようになるのが大人であるということ。

イ あらゆるものを多面的に把握はあくするように努め、一面的なものの方にとらわれないようにすることで、大人の対応ができるようになるということ。

ウ ものごとの肯定的な面ばかり注目せず否定的な面にも目を向けることで、様々な意見を理解できるようになるのが大人の対応であるということ。

エ あらゆるものごとには肯定的な面も否定的な面もあるが、その両面を認識しながら、その場その場で前向きな言動ができるようになるのが大人であるということ。

問六 ——線⑤「サルもヒトも『毛づくろい』が必要だ」とありますが、どういうことですか。次の空欄くわらんに適切な内容を補って説明を完成させなさい。

サルが毛づくろいというコミュニケーションを行うのは I (三十字以内) ためである。一方、人間はつながりを確かめ合うために II (十字以内)。

問七 ——線⑥「たったこれだけの文章なのに、楓はプレゼントを贈られたような気持ちになる。」とありますが、このときの楓の気持ちはどのようなものですか。最も適切なものを次のア～エから選び記号で答えなさい。

ア 誰だれにも気にしてもらえなかった自分に興味を持ち、SNSに返信をくれる結衣となら友達になれると思い、どうしたら友達になつてもらえるか知りたい気持ち。

イ 結衣が返信してくれたことによつて初めて、自分が発信した内容を受け止めてくれる人がいるのは幸せなことだと知ることができて、結衣に感謝したい気持ち。

ウ 自分の存在を確認したくて書きこんだささいな内容に結衣が返信してくれたことが嬉しくて、このやり取りを続けたい、友達になりたいと思う気持ち。

エ 人と関わることに興味がなかった自分に、人と関わることの楽しさを教えてくれた結衣からの返信は、他の何にも代えがたい宝物だとありがたく思う気持ち。

問八 ——線⑦「サルになるのも悪くはないかな、と楓は思った。」とありますが、どうしてですか。最も適切なものを次のア～エから選び記号で答えなさい。

ア 一人でいられないから群れるのだと馬鹿にしていた楓だが、結衣のように群れの中にも良い人がいると学んだから。

イ 人が群れるのはみんなで協力して一人ではできないことを成し遂とげるためだと気づいた楓は、群れることに意義を見出したから。

ウ 一人でいてもSNSでつながろうとしていた自分に気づいた楓は、現実世界でも群れの中に入るべきだと考えたから。

エ 人と群れることに対して興味がなかった楓だが、人と関わり人とながりを得るのは楽しいことだと知ったから。

【二】次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

遺伝子オンには感動も大切です。感動すると人間の感性が活性化されるからです。現代の文明は人間の欲望を満たすかたちで発達してきましたが、欲望充足型は満たされると欲求はレベルダウンします。

① いまの日本がそうです。戦後の何もかも失った状態から出発した日本は、まず食べるということから始めて、さまざまな欲求を満たしてきました。人間は困った状態におかれると遺伝子オンになる。戦後の日本人はまさにそうだったと思います。

I 欲求が満たされると、感動がなくなりました。明日の食事にも困っているときは、一升の米を手に入れても飛び上がるほどうれしい。私の時代は牛乳や卵や肉が馳走でした。ご馳走を目の前にするだけでも感動できたのです。

いまはどうでしょうか。食べ物ではめったに感動しない。着るものもそうです。いまの日本人は、物質的な欲求はありますが、満たされても感動までは行き着けない。だからといって、国が豊かになってもいいから、いまさら逆戻りするわけにもいきません。

② 感動しにくい状況で、いかに感動するか。一つは美しいものを追求することです。人間は快感原則に忠実で、つねに快感を求めています。II ではなかなか感動できなくなりましたが、美しいものを見て「すばらしい」と思うような快感はまだ残っている。それに美

すばらしい絵画を見たときの快感は、食欲満足の快感と違って「もういいや」とはならない。食欲などは飽和点がありますが、美の回路には飽和点がない。だから、いまの日本の現状で感動を求めるのは賢明な方法なのです。

③ この考え方を私は、感性科学、情報環境学などが専門の大橋 力さん（千葉工業大学教授）から教えていただきました。人間の心や行動を大きく支配しているのは「気持ちがいい」「楽しい」などの感性ですが、この感性脳と生命の活性化の関係を大橋さんは研究されているのです。

バリ島に「ケチャ」と呼ばれる舞踊劇があります。ケチャは百人くらいの人間が輪になって繰り返す組織的な音楽舞踊で、激しい叫び声と複雑なリズムが特徴といわれています。このケチャが感性脳をよく刺激すると大橋さんはいいます。

ケチャの踊りは、ポリシヨイバレエに匹敵する難しい体の動きが特徴です。すごく難しい踊りなのです。そうすると訓練を積んだプロでないとできない。だがケチャは踊り手も楽器の演奏者も、水田で働く普通の農民です。

素人でプロ級のことをやっている。その秘密は上半身だけで踊る点にあります。なぜそうするのかといえば、みんなが活性化したいからです。プロにやってもらって、見るだけでは活性化が弱い。みんなが参加することで、感動を共有しようという知恵がそこには込められているのです。

しかし、感動というのは、何もすぐれた美術作品や、ケチャのように大がかりな演出、舞台装置を必要とするものとはかぎりません。目の前にある何でもよいような存在、出来事からも感動は得られます。

感動ということを考えるとき、大切な対象ではなく、むしろこちらの感性のほうです。たとえば、道端に咲いている小さな花を見て「かわいいな」と考える人のほうが、見逃す人よりもいい。遺伝子オンになりやすいのです。

要はこちらが感動できるかどうかですから、対象は何でもいい。なかにはとても感動できそうもない対象に感動の材料を見つけ、魅せられてしまう人がいます。

Ⅲ 土。普通は土などにはあまり魅力を感じないかもしれませんが、先に紹介した土壤学者の陽捷行さんは、高校生のころに「土ってすごいな」と感動し、ずっと土のことばかり考えつづけてきたそうです。こういう感性をもった人も、遺伝子オンになりやすい人といえます。私も農学を学びましたから、普通の人よりは土になじみがあります。でも、一般の方は「土のどこがおもしろいの？」と思われるにちがいない。でもそれは目のつけどころの問題で、ただぼんやり眺めていては魅力はわかりません。

土のどこに魅力があるか、陽さんはこうおっしゃいます。「土壌は一八センチしかありませんよ」。土なんて「いくらでもある」と思いがちですが、もし地球の大地に平均してばらまくとしたら、たった一八センチにしかならない。これほどわずかな土を使つて、私たち人類は農業をしているのです。

それから水。これもすぐく少ない。海まで含めて考えれば、無限のように思えますが、実際に土の中で使える水（淡水）は、たったの「一ミリ」しかないのです。ついでにいえば生命に關係する重要な地球資源の大気（酸素）も、地上からたった「一五キロ圏内」という低いところにしかありません。

人間も含めて地球生命体は、結構危うい生存環境の中で生きています。こういう視点でとらえると、人間も生物も「生きていくだけでもすごいな」ということがわかるはずですよ。

私は読者のみなさんに、^④ こういう種類の感動をもつとしていただきたい。感動は気持ちを高揚させます。気持ちが高揚するということは、Ⅳ 遺伝子がオンになるということだからです。

さらにチャレンジすること、あるいは目標をもつことも、遺伝子オンに有効な方法です。たとえば、子供が跳び箱にチャレンジし、失敗してひっくり返る。跳び箱の角に頭を打ちつけ泣き出したとします。でも、そういうときの泣き顔をよく見ると「泣き笑い」であることが多い。強制された場合は別ですが、進んでやった場合は半分喜んでいる。「またやってやろう」という気持ちがありなのですよ。

高校野球で、初回にラグビー並みの大差をつけられたチームの監督が、選手に「試合放棄するか」と聞いたら、選手は「やります」と答えた。自分たちがいままでやってきたことを「確かめたい」と思っているから、選手は大差がついても燃えられる。負けても充実感、至福感が残るのです。

こういう心の働きは、脳の働きからいって当たり前です。脳は目標がないと動かない。朝、起きられないのは、起きてすぐすべき目標がないから。いくら眠くても友達と約束があるとか、遊びに行くというときは、パッと目が覚めるものです。

起きたくないのに起きなければならぬとき、すぐ起きるコツは、行動を先にすることです。いちばんいいのは床を離れること。そうすれば脳活性が上がって目が覚める。^⑤ 脳はそういう仕組みになっているのです。

（村上和雄『遺伝子オンで生きる』による）

問一 I・III・IV に入る語として最も適切なものを次のア～オから選び、それぞれ記号で答えなさい。ただし、同じ記号を二度以上用いてはいけません。

- ア たとえば イ すなわち ウ むしろ エ あるいは オ ところが

問二 —線①「いまの日本がそうです。」とありますが、いまの日本は、どのような状況なのですか。解答欄の「いまの日本は」に続けて、わかりやすく説明しなさい。

問三 —線②「感動しにくい状況で、いかに感動するか。」とありますが、筆者が感動するために大切だと考えているものは何ですか。それがわかる一文を探し、はじめと終わりの五字を答えなさい。

問四 II に入る語句として最も適切なものを次のア～エから選び、記号で答えなさい。

- ア 感覚的欲求
イ 個人的欲求
ウ 生理的欲求
エ 知性的欲求

問五 —線③「この考え方」とありますが、どのような考え方ですか。理由も含めて、わかりやすく説明しなさい。

問六 ——線④「こういう種類の感動」とありますが、筆者は、どのような意図で土や水を具体例に挙げたのですか。最も適切なものを次のア～エから選び記号で答えなさい。

- ア 身の回りであつて普段意識しないようなものの中にも、見方やこちらの意識のあり方によつて、思わぬ感動があることを伝える意図。
- イ 当たり前と感じていることが当たり前ではないと気づく姿勢の大切さや、地球生命体が生きていることの素晴らしさを教える意図。
- ウ 生きるために必要な我々を取り巻く環境が、実は危うい状況にあることを伝え、今後どうするべきなのか考えさせる意図。
- エ ありふれたものに感動の材料を見つける人がいると伝えることで、身近なものに興味を持つきっかけを作ろうとする意図。

問七 ——線⑤「脳はそういう仕組みになっているのです。」とありますが、どういふことですか。最も適切なものを次のア～エから選び記号で答えなさい。

- ア 起きてすぐするべき目標さえあれば、脳は自然と起きて動き始めるので、一日の予定を作る必要があるということ。
- イ 目標がなくても行動すれば脳活性は上がるのだが、目標がある方が脳活性の上がる率は高いということ。
- ウ 脳は目標がないと動かないが、たとえば起きたくなくとも布団から出ると、目が覚めるということ。
- エ 遊びに行くという目標があるのに起きられないときは、脳活性を上げる行動をすべきであるということ。

問八 次のア～オについて、本文の内容と合うものにはA、合わないものにはBを書きなさい。

- ア 人間の心や行動を大きく支配している感性は感動することによつて活性化され、遺伝子オンにつながる。
- イ 「ケチャ」と呼ばれるバリ島の音楽舞踊が感性脳をよく刺激するのは、素人でもプロ級のことと要求されるからである。
- ウ 何に対しても感動できる感性の持ち主は遺伝子オンになりやすく、チャレンジ精神も旺盛であることがわかつている。
- エ 強制されて取り組むのではなく、自ら目標を持つて取り組んでいることであれば、勝ち負けに関係なく充実感はある。
- オ 友達との約束がある日や遊びに行く日は起きられるのに普段起きられない人は、遺伝子オンになっていないからである。

【三】 次の問いに答えなさい。

問一 次の文の「ない」と同じ使い方をしているものをア～オから一つ選び、記号で答えなさい。

私が好きなきムチはそんなにならくない。

ア 生活リズムが崩れて、なかなか早い時間に起きられない。

イ わからないことは、わかるまで質問した方が良い。

ウ 鏡には、なさけない表情の自分が映っていた。

エ 落雷のせいで、復旧するまで電気が使えない。

オ おだやかでない雰囲気^{ふんいき}に思わず言葉を失った。

問二 次の文の主語、述語を一文節で書き抜いて答えなさい。

彼に振り向いてもらいたいという願いが私をできもしないダンスの世界へ誘った。

問三 次の□にア～オのいずれかを入れてことわざ・慣用句を完成させるとき、一度も使わないものを一つ選び、記号で答えなさい。

悪事□里を走る

□日の菊、六日のあやめ

無くて□癖

桃栗三年柿□年

ア七 イ八 ウ十 エ千 オ万

問四 次の□にア～コのいずれかを入れて類義語を完成させるとき、①～④に入るものをそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

栽培	さいばい		①
細心	さいしん		③
			④
			②

語群									
ア	慎	い	生	ウ	上	エ	重	オ	太
カ	体	キ	枝	ク	育	ケ	向	コ	温

問五 次のア～エの文の順序を整えて意味の続きがはつきりした文章にするには、どのような順序にすればよいですか。はじめから順に記号で答えなさい。

ア 「チャ」は主に大陸を經由して伝わったもの、「ティー」は主に海を經由して伝わったものとされています。

イ 輸入したのは茶葉や飲み方だけではありません。「茶」や「tea」という名前も一緒に入ってきた外来語なのです。

ウ インドのミルクティー「Chai (チャイ)」がどちらを經由して伝わったと考えられるか、もうおわかりですね？

エ 日本では「茶(チャ)」、英語では「Tea (ティー)」と呼ばれる茶は、いずれも中国を発祥とする飲み物です。

【四】 次の①～⑩について、――線の漢字はひらがなに、カタカナは漢字に直しなさい。

- ① 危機に備えて米を貯蔵しておく。
- ② 派手な演出に驚いた。
- ③ 私鉄の沿線に住む。
- ④ 天気予報で今年は暖冬だと言っていた。
- ⑤ あやしい人物を疑いのまなざしで見ると見る。
- ⑥ 要人を迎えるためのケイビは万全だ。
- ⑦ ケンチヨウ所在地を訪ねる。
- ⑧ キンム態度が良いとほめられた。
- ⑨ そこはジュウタクの密集地帯だ。
- ⑩ 空が赤くソまってきれいだ。

解答用紙

2022
(令和4)年度

国語

東大・医進クラス
2月1日 PM

【一】

問一	A
	B
	C

受験番号	
座席番号	
得点	

問二

問三
問四
問五

問六	
II	I

問七
問八

【二】

問一	I
	III
	IV

問二	いまの日本は

問三	はじめ
	終わり
問四	

問五

問六
問七

問八	ア
	イ
	ウ
	エ
	オ

【三】

問一	
問二	主語
	述語
問三	

問四	①
	②
	③
	④
問五	
↓	
↓	
↓	

【四】

⑥	①
⑦	②
⑧	③
⑨	④
⑩	⑤
まっ	い
て	

解答用紙

2022
(令和4)年度

国語

東大・医進クラス
2月1日 PM

【一】
問一
A イ B エ C ウ

受験番号	
座席番号	
得点	

問二
5
目下前にだれかがいるときにスマートフォンをいじめることは
マナー違反だとする感覚。

問三
3
イ
問四
3
ア
問五
3
エ

問六
II 4
I 5
言語を、他者と暮らすストレスをやりあげ
発達を良好な関係も維持する

問七
3
ウ
問八
3
エ

【二】
問一
I 2
オ
III 2
ア
IV 2
イ

問二
5
いまの日本は欲望が満たされたことで欲求がレベルダウンし
物質的な欲望が満たされても感動できなくなっている状況。

問三
はじめ 4
感動という
終わり
ほうです
問四
4
ウ

問五
5
すばらしい絵画を見たときの感動には飽和点がないため
いまの日本の現状で感動を求めらるなら美の回路に活路を
求めるのが賢明な方法であるという考え方。

問六
3
ア
問七
3
ウ

問八
ア イ B ウ
B エ A オ B

【三】
問一
4
オ
問二
主語 2
願いが
述語 2
誘った
問三
4
オ

問四
① 2
ク
②
イ
③ 2
ア
④
エ
問五
4
エ ↓ イ ↓ ア ↓ ウ

①② 完答
③④ 完答

【四】
⑥
1
警備
⑦
1
県庁
⑧
1
勤務
⑨
1
住宅
⑩
1
丸木
まって
①
1
ちよぞう
②
1
はで
③
1
えんせん
④
1
だんとう
⑤
1
うたがい